

件名	旧中川の水質汚濁に関する陳情		
提出者 住所氏名	江戸川区平井 D		
受理年月日	平成23年10月27日	受理番号	第5号
<p>要旨</p> <p>旧中川の水質汚濁について、抜本的対策をとるよう、東京都に対し、意見書を提出してください。</p> <p>(理由)</p> <p>墨田区と江戸川区の区境に横たわる旧中川が合流下水の放流によって汚染されています。合流下水とは一般家庭・事業所などから排水される台所・浴室・水洗トイレからの汚水と雨水が一本の下水管に集められたものです。東京都区部のほとんどは合流下水方式で、この下水道管に各家庭・事業所は配水管をつながなくてはなりません。</p> <p>集められた下水は墨田区の場合、東半分は吾嬭ポンプ所（現在再構築中のため休止）・吾嬭第二ポンプ所を通り、砂町水再生センターに送られ、そこで浄水されて、砂町運河に放流されることになっています。しかし、雨が降り雨量が通常の下水量の3倍を超えると、砂町水再生センターは受入れ不能ということで、下水は若干の固形物を取り除いたあと、浄化されないまま旧中川に放流されています。</p> <p>一方、旧中川は昭和46年以来、江東内部河川整備事業で低水位河川として改修され、<small>のみくち</small> 呑口・<small>はげぐち</small> 吐口となっている荒川との水位差は、満潮時3メートル以上となり、<small>のみくち</small> 呑口の木下川水門、<small>はげぐち</small> 吐口の小名木川水門は閉じられ、旧中川は「閉じ込められた川」となりました。</p> <p>この「閉じ込められた川」に沿岸の江東区、江戸川区、そして墨田区の下水道ポンプ所が過去20年間、年間20回近く合流下水放流を続けた結果、旧中川は悪臭が漂う緑色の濁った川になり果てました。放流された下水の量に相当する水は木下川排水機場からポンプを使って荒川に排水しているのですが、固形物の大部分は川底に沈殿していると思われます。このまま下水道ポンプ所からの放流が続けば、旧中川は肥だめになってしまいます。沿岸住民30万人にとってまさに</p>			

環境破壊、不衛生の極みです。岸边は遊歩道として美しく整備されましたが、川そのものはこれを裏切っているのが実態です。このような状態を改善するため、何らかの方策を取るよう、東京都に対して意見書を提出してください。

以上の趣旨をご理解の上、上記事項の実現をお願いいたします。

以 上